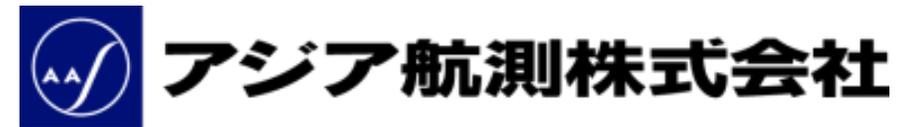
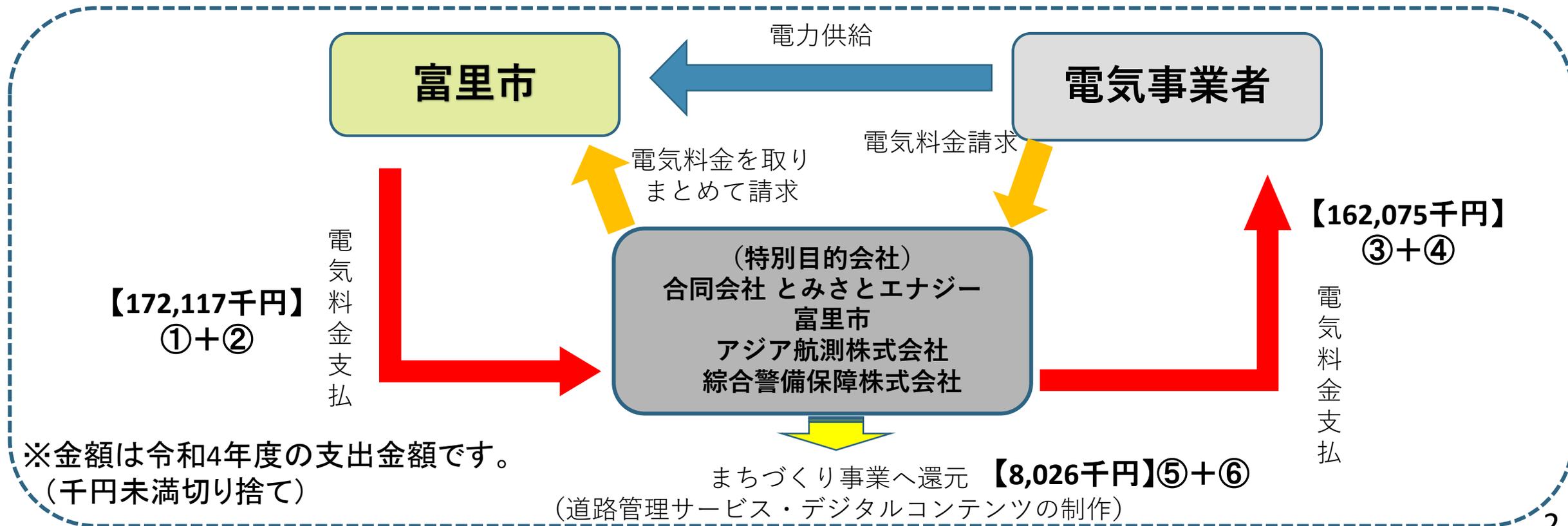


令和4年度 とみさとエナジー 事業報告及び決算報告



令和4年度 とみさとエナジー 事業報告

令和3年1月に富里市・アジア航測株式会社及び総合警備保障株式会社の3者で「合同会社とみさとエナジー」を設立し、令和3年4月から公共施設への電気供給事業を開始しました。電気事業で生み出した収益で、まちづくりへの還元事業として「道路管理サービス」及び「デジタルコンテンツの制作」を実施しました。



道路管理サービス実証実験(まちづくり還元事業)

道路管理サービス経費 5,310,000円

市民アンケート等でも多く求められている生活道路、特に住宅団地内道路を重点に、「道路のパトロール及び簡易補修業務」と「舗装修繕工事」を実施しました。

●団地内道路のパトロール及び簡易補修業務 (1回/月)



市内の全団地を対象に、パトロール及び小規模な簡易補修を行い、道路の走行に危険な状況が無いかを点検しました。
月1回のペースでALSOKにより市内の団地を順次巡回しています。

●パトロール状況や昨年度実施した路面状況調査等の結果により舗装修繕工事箇所を決定

⇒令和4年度実施箇所は「日吉台6丁目」



路面調査の結果を参考に、令和4年度は日吉台6丁目の2か所で、市内事業者が舗装工事を施行し、きれいに修繕されました。

【1工区】工事延長:89m、面積:445㎡

【2工区】工事延長:48m、面積:240㎡



令和4年度から、デジタルコンテンツを使った新たなまちづくり還元事業の取組として、AR技術を活用した3Dとみちゃんモデルを制作しました。今後も様々な活用方法を検討していきます。

ARとみちゃんフォトコンテスト 令和5年6月12日～6月20日

ARとみちゃん フォトコンテスト

4年ぶりの宮里スイカロードレース!
とみちゃんも“やる気済々”燃えている!
スマホでとみちゃんを撮影して「#ARとみちゃん」で投稿しよう!

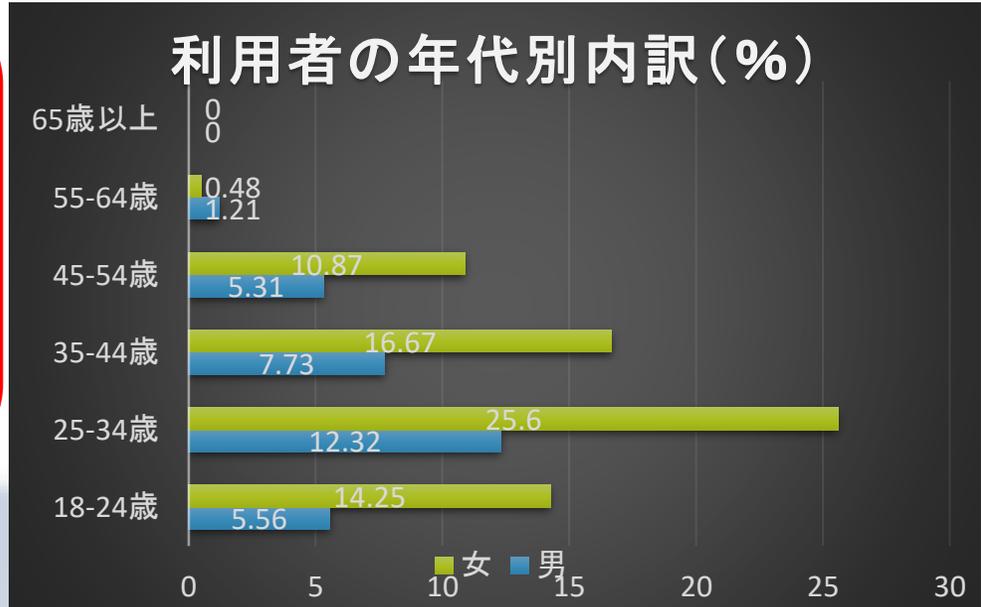
投稿期間：2023年6月12日～6月20日

【ARとみちゃん 撮影方法】
●アプリ「COCOAR」から
①「ARとみちゃん」COCOARアプリをインストール
②QRコードをスキャン

【フォトコンテスト投稿方法】
●Twitterから
①スマートフォンでARとみちゃんを撮影
②Twitterアカウント「とみちゃん」(＠333_tomichan)に「とみちゃん」タグをつけて投稿
●専用投稿フォームから
①スマートフォンでARとみちゃんを撮影
②専用ページ「ARとみちゃん-フォトコンテスト」(https://www.city.tomisato.lg.jp/0000004340.html)にアクセス
③専用投稿フォームから投稿



スイカロードレース大会の会場等において、専用アプリを使った「ARとみちゃん」が出現!
【利用実績】
再生回数 1,037回
写真撮影 1,074回



ロードレース終了後には、末廣農場にてデジタルスタンプラリーを実施!

令和4年度 収支計算書

(事業期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日)

【歳入の部】

科目	決算額
電気料金(高圧)	155,835,580 ①
電気料金(低圧)	16,281,527 ②
雑収入	127,336
前期繰越利益剰余金	2,343,987
歳入合計	174,588,430

【歳出の部】

(単位:円)

科目	決算額
●電気事業の部	
電気料金(高圧)	145,908,849 ③
電気料金(低圧)	16,166,345 ④
●還元事業の部	
道路管理サービス経費	5,310,000 ⑤
デジタルコンテンツ制作費	2,716,000 ⑥
●会社運用の部	
事務委託等	964,009
消耗品等	17,818
税金等	332,811
歳出合計	171,415,832

差引残額

3,172,598円

富里市一般会計における電気料比較

年間電気料金の比較(一般会計)

令和3年度	86,237,345円
令和4年度	126,129,478円

年間比較で**およそ4000万円増加**

電気料金の内訳

再エネ賦課金

燃料費調整額

電力量料金

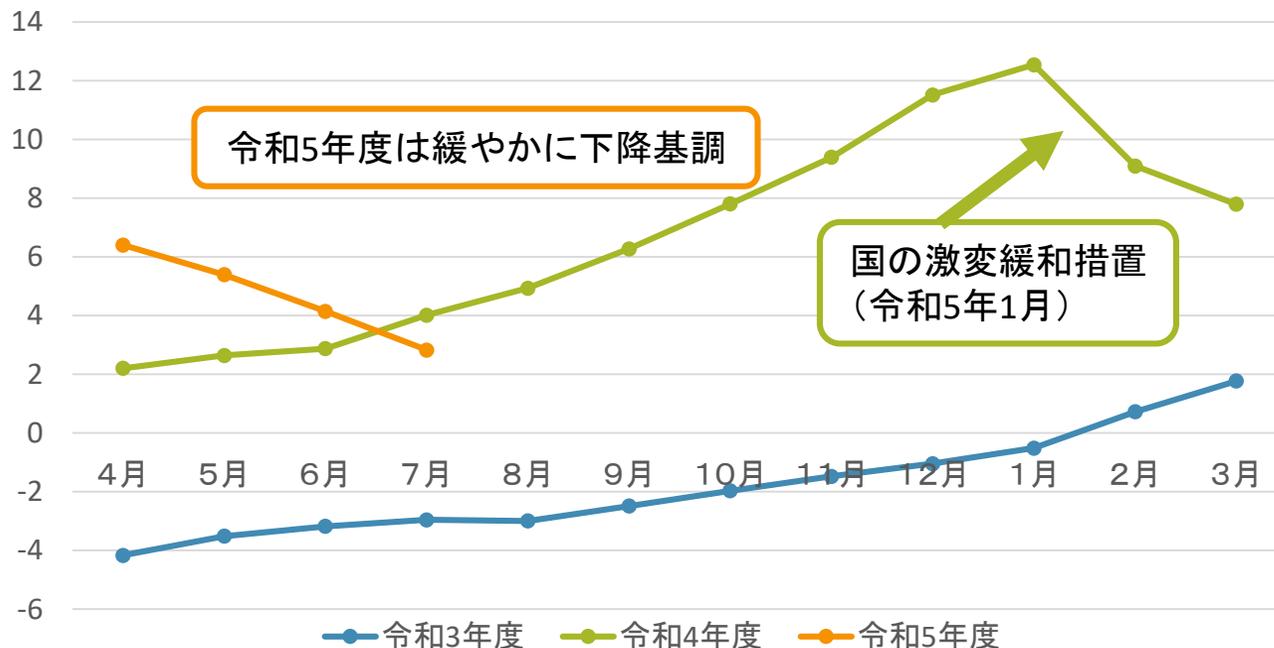
基本料金

原因

- ①エネルギー資源の価格上昇に伴う**燃料費調整額の上昇**
- ②再エネルギー賦課金の値上げ
- ③国内の電気の供給力不足

単位:円/kWh

燃料費調整額単価(年度比較グラフ)



事業効果について

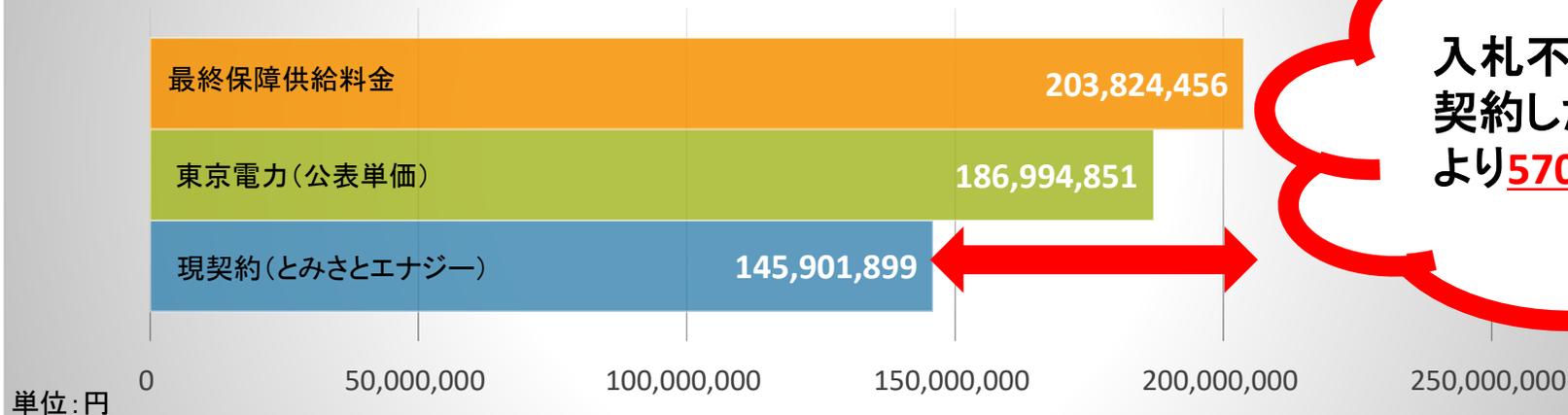
○電気料金の比較については、燃料費調整単価の高騰等の影響により電気料金全体が上昇しているため、前年度と単純比較することはできないが、大手電気事業者が軒並み単価値上げをしている中、出光興産と電気料高騰前の令和3年度に5年間の単価契約を締結して、その単価を継続できていることは大きなメリットと言える。

○まちづくり還元事業として「道路管理サービス」「デジタルコンテンツ制作」に投資できたことは、大きな効果と言える。

○通常どおりの単年度入札を実施していた場合には、単価上昇の煽りを受けること、また最悪は入札不調となり、最終保障供給料金での契約となる可能性もある(多くの電力会社は、新規の契約を控えている傾向にあります)。

【高圧電気料金】

令和4年度の実績値(電気使用量)で、3パターンの単価で比較したシミュレーション



入札不調で最終保障供給料金で契約した場合には現行の価格より**5700万円**も増額する！

今後の展望について

現在の電気料金を取り巻く情勢等について

【上昇要因】

- 2023年4月から託送料金の値上げ
- 一般家庭向け電気料金の値上げ(令和5年6月)

【下降要因】

- 燃料費調整額単価は下降傾向
- 再エネ賦課金も下落??(令和5年度)
- 国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」が9月以降も継続(見込)

○このような情勢の中、今後の動向も不透明ですが、次回契約切り替えに向けて、電力市場の動向に注視して関係機関と情報を共有しながら運営していきます。